

第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

大牟田市立三池小学校 教諭 堤 朱音

1. 単元名 「三池のたからものをカルタにしよう ―地域体験学習―」

2. 単元の目標

- 三池校区の人々が大切にしてきた史跡や伝統的な祭り、人々の思い等について理解し、学習したことを使ってカルタを作成して、友達や他学年の児童、家族や地域の人に三池のよさを伝えることができる。 (知識・技能)
- 大牟田カルタで遊ぶことを通して、カルタの中に三池校区に関するものが多いことから課題を見出し、実際に史跡を見学して史跡について話を聞いたり、これからも史跡を守っていくために自分たちにできることを考えたり、自分が知ったことをカルタにまとめてたくさんの人に広めたりすることができる。 (思考力・判断力・表現力)
- 三池校区に多くのたからものがあることに関心を持ち、意欲的に史跡について調べたり、カルタを作成したり、カルタについて発表したりすることができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、「大牟田カルタ」、「三池の歴史を学ぶ会の方との出会い」、「地域体験学習」、「三池カルタ作り」を教材として取り上げる。

大牟田カルタをして、三池校区に関するもの(三池校区のたからもの：臥竜梅、定林寺、臼かぶり等)が多いことに気付くことで、活動への意欲を高めることができる。また、三池の歴史を学ぶ会の方との出会いを通して、三池の史跡について詳しく知ったり、三池校区のたからものを大切にしている方の思いに触れたりすることができることが期待できる。さらには、カルタ作りを通して、自分たちが知った地域のよさを、友達や家族、地域の方に伝えることを通して、自分にできることを考えて行動する力を育むことができる。

(2) 児童観

本学級の児童は、第3学年において、三池校区に伝わる民話や説話を調べる活動を経験している。この活動を通して、三池校区に興味・関心を持ったり、民話や説話を紙芝居にまとめて発表する活動を通して、自分たちが知ったことを、周囲の人に伝えることに意欲を持ったりしている。

そこで、自らの体験を通して課題を見つけたり、課題について調べて、自分にできることを考えて実践したりすることができるようになるこの期に本単元を取り上げる意義は大きい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、大牟田カルタを提示する。カルタ遊びを通して、三池校区に関係するものを見つけ出させる。見つけ出したカルタをもとに、知っていることや気付いたことを話し

合わせることで、三池校区のたからものについての課題をつかませたい。また、三池校区のたからものをカルタにまとめようという児童の声から、学習への意欲をもたせたい。

次に、三池校区のたからもの見学を通して、史跡や祭りの由来について学ばせる。また、見学ではGTとして三池の歴史を学ぶ会の方を招き、案内してもらうことを通して、三池校区に住み、たからものを大切にしている人の思いにも気付かせたい。

(4) ESDとの関連

○本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

- ・有限性…昔は活用されていたものでも、使われなくなれば、守る人がいないとなくなってしまう。
- ・連携性…三池校区のたからものは、多くの人々が協力して守ってきた。
- ・責任性…これからも三池校区のたからものを守って行くためには、そこに住む自分たちの行動が大切である。

○本学習で育てたいESDの資質・能力

- ・未来像を予測して計画を立てる力
これからも大切にしたい三池校区たからものや人々の思いを未来にも残して受け継いでいくために、どうすることが大切かを考える。
- ・批判的に考える力
三池校区にあるたからものは、残っていたのではなく、多くの人々の努力と工夫によって残されてきたのだということに気付く。
- ・コミュニケーションを行う力
三池校区のたからものには、どんな意味や人々の思いがあるのか、三池の歴史を学ぶ会の方に尋ねたり、友達と考えを交流したりする。また、三池校区のたからものをこれからも残していくために、自分たちにどんなことができるのか、友達との交流を通して考える。
- ・進んで参加する態度
三池校区のたからものについて、自分に関係のあることだと捉え、これから自分にできることを考える。

○本学習で変容を促すESDの価値観

- ・世代間の公正
三池校区の人々が大切にしてきたたからものや人々の思いを、自分のあとの世代にも伝え、三池校区に住む1人として誇りをもって生活できるようにしたいという思いをもつ。
- ・人権・文化を尊重する
三池校区に住む1人としてその土地の歴史について知り、その土地の人々の思いを大切に守っていきたいという思いをもつ。

○達成が期待されるSDGs

- 11 まちづくり
- 16 平和・公正

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①三池校区の人々が大切にしてきたたからものや人々の思いについて理解している。</p> <p>②学んだり、調べたりして獲得した知識を、カルタにして絵や読み札で表し、説明を付け加えて周囲の人に三池の史跡について伝えることができる。</p>	<p>①資料をもとに課題を見だし、これからもたからものを守っていくために自分たちにできることを考えている。</p> <p>②自分が知ったことや考えたことを、カルタにまとめてたくさんの人に広めている。</p>	<p>①三池校区に多くのたからものがあるということに関心を持ち、意欲的に史跡について調べている。</p> <p>②三池校区のたからものには、どんな歴史や人々の思いがあるのか、三池の歴史を学ぶ会の方に尋ねたり、友達と考えを交流したりする。</p> <p>③調べたことをもとに作成したカルタを使って、周囲の人に理解してもらえるように発信しようとしている。</p>

5. 単元の指導計画（全20時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1 ②	<p>○大牟田カルタをして気付いたことを話し合い、今後の活動の見通しをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大牟田カルタの中に、たくさん三池校区に関するものがあるね。 ・普光寺の臥龍梅を見に行ったことがあるよ。 ・定林寺って、どこにあるんだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を明確にさせるために、大牟田カルタに親しませた後、カルタの中に三池校区に関するものが多いことに着目させる。 ・活動に意欲を持たせるために、読み札の頭文字を学級全員で割り振る。 	<p>△イ① （思判表）</p> <p>△ウ① （主体的）</p>
2 ⑤	<p>○三池校区のたからものについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臥龍梅は、樹齢450年以上の梅である。 ・定林寺は、「あじさい寺」と呼ばれるほどあじさいがきれいに咲く場所である。 ・道路沿いにある白壁は、陣屋や三池街道の昔の町並みを感じられる。 ・「妙見さん」は、三池初市の起こりの神様といわれている。 ・学校にある石段は、江戸時代につくられたものである。 ・弥劔神社で行われる「臼かぶり」は、火災よけの行事としてはじまった。 ・三池小学校は昔の陣屋跡にあって、校区は江戸時代の宿場町だったからたくさんの史跡が今でも残っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大牟田カルタに出てきたものの他にも三池校区のたからものがあることに気付かせるために、他にも三池校区のたからものはあるのか児童に問い、これまでの生活の中で知っていることを全員で共有させる。 ・三池校区のたからものについて考えるときには、史跡などの「もの」だけでなく、三池の歴史を学ぶ会の方のような「人」も視点に入れる。 ・児童からたからもの名前が出た時に、その場所の写真を全員に見せ、それについて知っていることを発表させて全員で共有させる。 ・事前にワークシートを配布し、三池の歴史を学ぶ会の方に質問したいことをメモさせておく。 	<p>△ウ① （主体的）</p>

	<p>○三池校区のたからものがある場所を巡り、三池の歴史を学ぶ会の方からの説明を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも通っている場所に、こんなに史跡があるなんて知らなかった。 ・昔から宿場町として栄えていた歴史があることは知らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後でカルタ作りをするときの材料にするために、三池の歴史を学ぶ会の方に三池校区のたからものについて説明してもらって分かったことをワークシートに書き込ませるようにする。 	<p>△ア① (知・技) △ウ①② (主体的)</p>
3 ③	<p>○三池校区のたからものを残していくために、自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでたからものが残されてきたのには、理由があると思う。 ・三池校区の自慢できるところだから、残して行くべきだと思う。 ・もっとたくさんの人に、三池校区のたからものについて知ってもらって、大切にしていきたい。 ・三池カルタを作って、たくさんの人に知ってもらおう。 <p>○調べたことをもとに、「三池カルタ」を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定林寺 きれいな紫陽花 見に行こう ・妙見さん 初市のおこりの 神様だ ・大名が 通った道だよ 三池街道 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちにできることを考えさせるために、「どうして昔からのたからものが今でも残っているのか」や、「自分たちにできることはないか」を問う。 ・遊ぶ人に三池のよさが伝わる絵札や読み札にするよう声をかける。 ・出来上がったカルタで全員で遊ぶことができるように、絵札は B4 の大きさの画用紙に描かせる。 ・低学年の友達や家族、地域の方などたくさんの人に遊んでもらえるように、小さなカルタも作成させる。 	<p>△イ① (思判表) △ウ② (主体的)</p> <p>△ア② (知・技) △イ② (思判表)</p>
4 ⑨	<p>○作成した「三池カルタ」を使って、三池校区のたからものを友達や地域の方や家族に紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妙見さんについて知ってもらうために、三池初市のおこりを紹介しよう。 ・臼かぶりは、火災よけの行事として始まったことを紹介したいな。 ・公民館に、地域体験学習で回った場所のマップを作って貼らせてもらえないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三池校区のたからものについてより分かりやすく友達や地域の方、家族に紹介するという相手意識を持たせ、発表の原稿を作るときには、自分の伝えたいことを明確にするよう声かけをする。 	<p>△ア② (知・技) △イ② (思判表) △ウ③ (主体的)</p>
5 ①	<p>○活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が知ったことを、家族にも伝えられて嬉しかった。 ・自分たちで作ったカルタを低学年の友達にも遊んでもらえて、三池のよさを広められたから良かった。 ・違う学校の友達や他の地域の人にも三池のよさを広めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も三池校区のたからものを大切に守っていくために、自分にできることに着目させるようにする。 	

